

令和4年度 第2回 学校法人木村学園 大阪電子専門学校
情報エンジニア科 学校関係者評価委員会 議事録

【開催日時】 令和5年3月9日(木) 13:00～14:00

【開催場所】 大阪電子専門学校 3階コワーキングスペース

【出席者】

学校関係者評価委員 (五十音順・敬称略)
秋山 英作 大日通信工業株式会社
大音 和豊 モノプラス株式会社 (委員長)
小森望充 国立大学法人九州工業大学
佐々木 啓 久米電気株式会社
吉田 剛 株式会社ベルチャイルド

弊学園教職員

木村 誠 学校長
上田 良和 教育改善ユニット・電気設備科班長
小堀 亮也 情報エンジニア科主任
中本 智 就職指導ユニット主任
刀根 辰樹 議事録作成担当

アドバイザー

西尾 義典 元清風中学・高等学校教師

- 【議案】
1. 自己評価報告書の報告と質疑応答
 2. 本年度の学生の進級・卒業・就職状況について
 3. 学生アンケート案に関する意見聴取

【議事録】

1. 自己評価報告書の報告と質疑応答

・情報エンジニア科に関わる項目を抜粋し報告した。その中で、卒業生と在校生の交流を増やせるかのご意見を頂いた。就職活動への理解を深め、就職後の自分をイメージできるような取り組みを行えると在校生にとって良い刺激になるので、そういった機会を設けることが良いのではないかとのご提案を頂いた。学校として今後取り入れていきたいと考えている。

2. 本年度の学生の進級・卒業・就職状況について

・1年生について、出席管理の指導を随時実施している。成績に関しては試験結果が芳しくない学生に対し、授業外にも補講時間を設け、分からない科目について理解できるように対策を講じている。また全員資格取得に向けて、カリキュラムの制作や教員の採用にも随時力を入れている。

・2年生は試験のある座学が少ない分、勉強に集中できていて成績は良い。試験が少ないため、中だるみ等が起こる可能性があるので随時学生に対して面談を実施している。資格に関しては1年次にほとんどの学生が取得済みである。資格が取れていない学生に対しては別途

資格対策講座の対応を行った。就職活動については、面接対策や就職斡旋も実施したが、個人で進路を考える学生も4名おり、うち2名は進路未定で卒業した。

・学力差について学校側ではどのような対応を行っているのかと質問に対しては、学校として、補講や追試を実施し試験合格の学力まで引き上げることで対応を行っている。

3. 学生アンケート案に関する意見聴取

・2年生は、教員の手厚いサポートについて評価が高かった。ただ新規授業に関しては教員側も不慣れなこともあったため、内容をさらに改善し実施したいと反省する点も多くあった。

・就職活動支援について、卒業後3、4年後を経過した卒業生を招き説明をする機会はないかとの質問に対しては、時期が合えば実施しているとの報告を行った。過去年度に実施した実績もある。

・授業や参考書を正しく理解できるのかとの質問に対しては、ネット社会の弊害もあり文章の読解力に不安があると回答があった。学校の取り組みとしては、今後授業で文章等の読解力を高めていくカリキュラムを計画している。

・資格の種類が多いが授業はどのような形式なのかという質問に対しては、まず授業中に試験範囲の勉強を行い、その後実力が上がると、授業内で模擬資格試験の実施を行っている。学生には自宅での勉強を促しているが、資格試験受講に関しては授業の時間内で指導を行い、学生の負担を少しでも減らせるように配慮している。

・学校側から企業様にどのような資格を持つ人材を求めているのか伺ったところ、開発系に就職を考えているのであれば基本情報は取得してほしいとのご意見を頂いた。ITパスポートは開発ではなく、使用者が取得していると使える資格なので重要視しない。学校のJ検を受講し、段階的に資格を取得していくのは良い取り組みであると評価を頂いた。

以上